

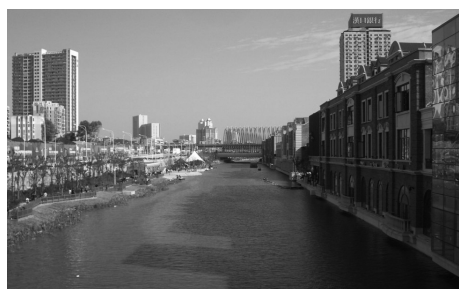
武漢に新たな名所が誕生！ — 楚河漢街

2011年度の武漢におけるホットな話題といえば、「楚河漢街」でしょう。年初に着工してから僅か8ヶ月で建設され、9月30日にオープンしたばかりですが、国慶節（中国のゴールデンウィーク）期間中の7日間で入場者数が400万人を超え、中国国内観光地の入場者数でトップ3に入りました。多くの人足を運びたいくなる「楚河漢街」の魅力を紹介していきましょう。

「楚河漢街」の由来

「楚河」は、武漢市の中東部に位置する2つの湖、東湖と沙湖を連結する全長2200m、幅40-70mの人工の運河で、楚地の河という意味があります。「楚」とは、春秋戦国時代（紀元前770年～紀元前221年）に湖北省周辺を統治していた強国です。「楚河」の埠頭からは、東湖行きのクルーズ船が5艘運航しており、中国宮廷風の豪華デザインの観覧船に乗って兩岸の景色を鑑賞することが観光客に人気となっています。

「漢街」は、武漢市中央文化区建設における重要なプロジェクトの一環であり、楚河の南岸に沿って1つの街のように造られた複合商業施設です。この施設は、中国の不動産開発グループ「万達」が500億人民元を出資して建設されており、総面積340万平方メートルの中に、文化、観光、商業、レジャーなど様々な分野のお店が入っています。各店舗は、中国の民国



楚河（右側が漢街）

時代（1911～1949年）の建築様式をベースにしなが、楚文化の要素も取り入れた造りになっています。

現代的な商業街

「楚河漢街」は、中国の北宋美術作家である張拙端氏の名作「清明上河図」に描かれている北宋（960～1127年）の繁栄する都市風景を再現した、現代版の「清明上河図」と言われ



ています。

漢街には、NIKE、ZARA、H&M、GAPや、スターバックスのアジア太平洋地域におけるフラッグショップなど300以上の



漢街の様子

有名ブランドが国内外から集まっており、1500mもある道の両側に立ち並んでいます。日本のユニクロ（中国語訳：「優衣庫」）も漢街で3階建ての店舗を構え、9月に開業して以来、1日の売上高が20万人民元（約250万円）を超え、漢街の売上ランキングではトップです。また、米国のディズニーランドも中心部にディズニー館を出店しており、ディズニーグッズの品揃えがとても豊富で、子どもが楽しめる遊び場も備え付けられています。

2012年には、60以上の国際的有名ブランドが集まったショッピングモールもオープンする予定です。

伝統文化と現代文化の融合した街

漢街は単なる商業施設ではなく、蠟人形館、美術館、文化会館などもあります。また、中国四大美人の一人や、太極拳の創始者など、湖北



広場に設置されたスクリーン

の文化人を記念した5つの広場も建設されています。その広場の1つにある「漢街大舞台」では、最新型のスクリーンを使って定期的に漢街の情報を公開しています。

また、米国の有名デザイナーが設計した「漢秀劇場」や、3D、4D、5D映画が鑑賞できる新感覚の映画館を20以上建設する計画があり、2013年前後に漢街の東西端に完成する予定です。

その他にも、高級ホテルや高級マンションなどの高層ビルを漢街の周辺に建設する予定であり、将来的に「楚河漢街」は、黄鶴楼に次ぐ武漢市の新名所となることでしょう。